

石油製品の価格動向について

平成19年2月19日
生活環境部
総務企画グループ

1 石油製品の価格動向調査の結果

県内の石油製品4品目について、2月8日～15日に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです（非定店調査）。

（単位：円、消費税込み）

品目名	規格・容量	店舗形態	前月調査の 平均価格	2月調査の 平均価格	対前月比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	132	128	3.0
		セルフ	128	124	3.1
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	111	107	3.6
		セルフ	108	103	4.6
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,313	1,262	3.9
		セルフ	1,246	1,226	1.6
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,427	1,390	2.6
LPガス	一般家庭用、10m ³	一般店舗	6,598	6,694	1.5

ガソリン、軽油、灯油は、前月は、元売各社が卸売価格を引き上げたにもかかわらず、暖冬の影響による需要の低迷、給油所間の価格競争激化などにより値下がりしたが、2月は、元売各社が卸売価格を引き下げたことから一段と値下がりし、ガソリンは、昨年3月の調査時以来、11か月ぶりに120円台となり、同じく軽油も100円台となった。

また、灯油も、平成17年12月の調査時以来、1年2か月ぶりに1,300円台を割り込んだ。

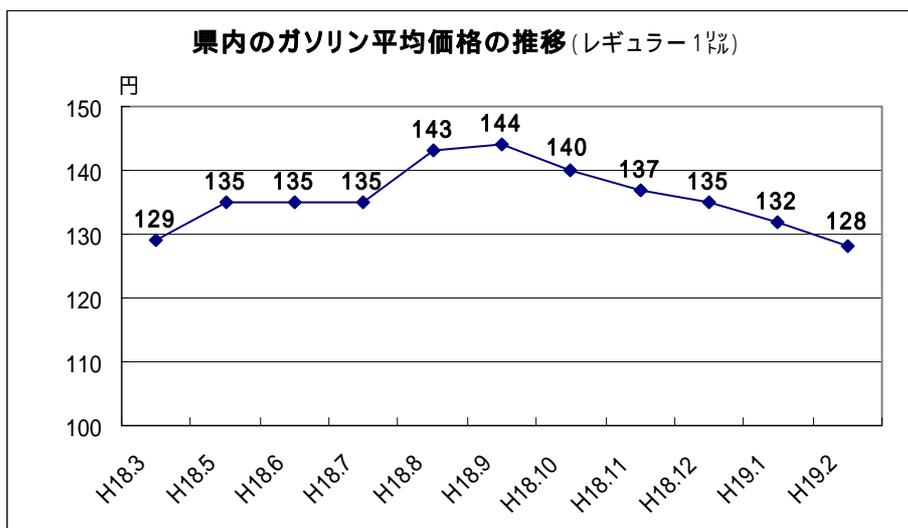
なお、LPガスは2か月連続の値上がりとなった。

ガソリン、軽油、灯油は、2月いっぱい下落傾向が続くものと思われるが、現在の原油価格の推移等から値上がりが見込まれる面があり、LPガスは、供給国であるサウジアラビアの国営石油会社が、2月船積み価格を引き下げているため、値下がりが見込まれるなど、引き続き石油製品価格の動向を注視していく必要がある。

2 県内の石油製品価格の推移

(1) ガソリン価格

一般店舗価格

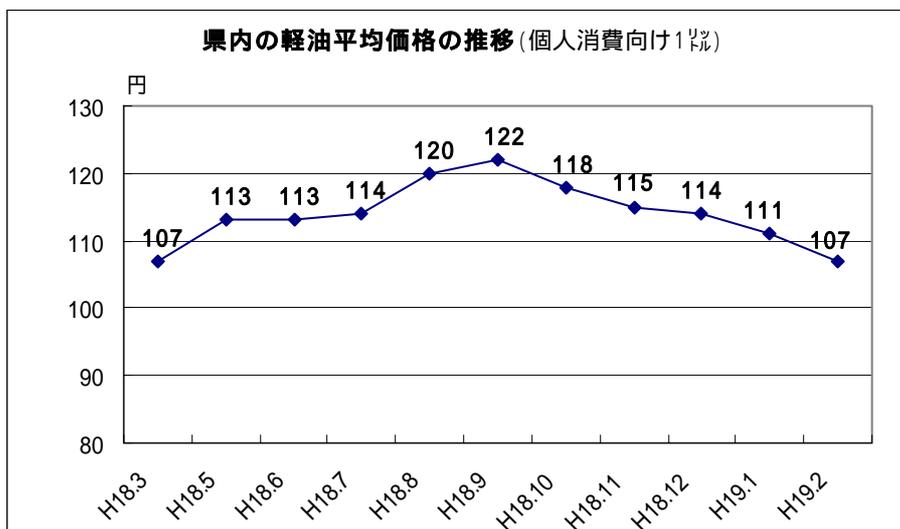


1月調査結果と比較すると、2月は4円値下がりした。元売各社が卸売価格を引き下げ、暖冬の影響、給油所間の価格競争の激化などにより、5か月連続の値下がりとなり、昨年3月の調査時以来、11か月ぶりに120円台となった。

今後の小売価格については、現在の原油価格の推移等から値上がりが見込まれる面があり、引き続き動向を注視していく必要がある。

(2) 軽油価格

一般店舗価格

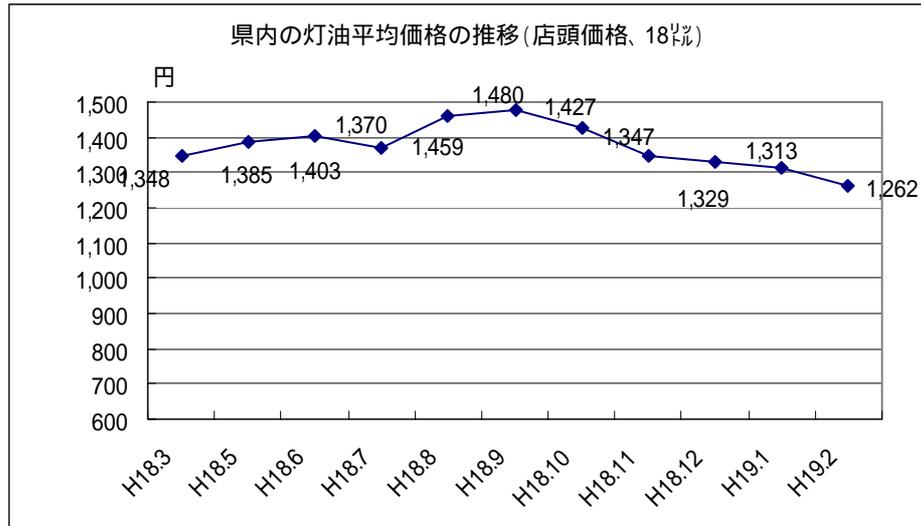


1月調査結果と比較すると、2月は4円値下がりした。元売各社が卸売価格を引き下げ、暖冬の影響、給油所間の価格競争の激化などにより、5か月連続の値下がりとなり、昨年3月の調査時以来、11か月ぶりに100円台となった。

今後の小売価格については、現在の原油価格の推移等から値上がりが見込まれる面があり、引き続き動向を注視していく必要がある。

(3) 灯油価格

一般店舗価格

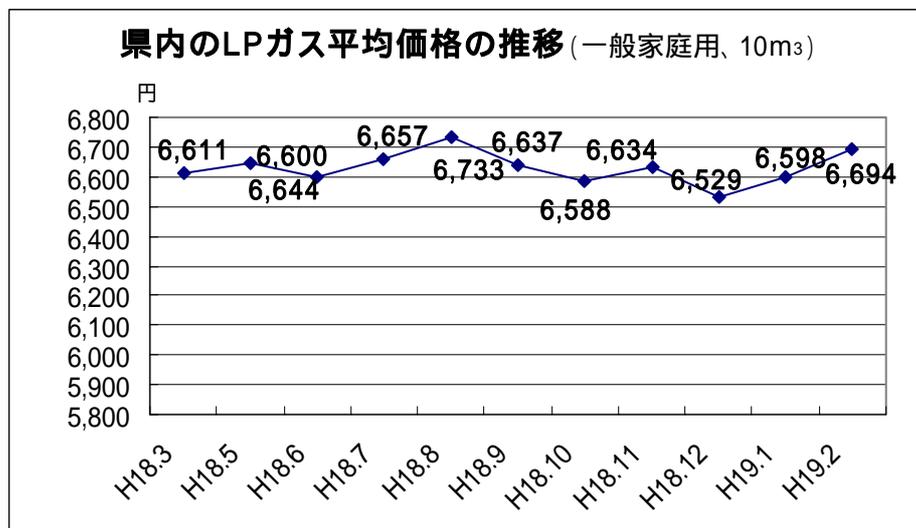


1月調査結果と比較すると、2月は暖冬の影響で需要が低迷していることなどから、51円(1ℓ当たり2.8円)値下がりし、平成17年12月の調査時以来、1年2か月ぶりに1,300円台を割り込んだ。

引き続き、小売価格の値下がりが見込まれるが、2月に入り、元売各社が暖冬の影響で積み上がった在庫をジェット燃料に振り向ける動きがあることなどから、引き続き価格動向を注視していく必要がある。

(4) LPガス価格

一般店舗価格



1月調査結果と比較すると、2月は6,694円となり、2か月連続の値上がりとなった。

日本のLPガス供給国であるサウジアラビアの国営石油会社が、2月船積み価格を引き下げるとしているため、今後の値下がりが見込まれるが、引き続き価格動向を注視していく必要がある。